

日経平均株価構成銘柄の株式併合の取り扱いについて

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄に予定されている株式併合について、下記のとおり、指数算出上の「みなし額面」を変更することで対応します。

構成銘柄の株式併合など市況によらない株価変動に対しては、これまで「除数（各構成銘柄のみなし額面換算済み株価の合計金額を割る数）」を変えることで調整してきました。今回予定されているような大幅な株式併合が実施された場合、除数調整では指数値の連続性や指標性を損ねる可能性があるため、これに代えて対象銘柄の「みなし額面」を変更することで、指数算出に用いる株価の水準が併合前後で変わらないように調整し、指数の連続性を維持します。したがって当該株式併合に伴う除数変更はありません。

記

本日現在、日経平均株価構成銘柄の中で株式併合が予定されているのは以下の2銘柄です。各発行会社において実施が正式決定された場合には、その効力発生日から、「みなし額面」を併合比率に応じて以下のとおり変更します。

りそなホールディングス（8308、1000株を1株に併合）

みなし額面	併合前	50円
	併合後	50000円

日興コーディアルグループ（8603、2株を1株に併合）

みなし額面	併合前	50円
	併合後	100円

以上

(参考) 日経平均株価の算出方法

各構成銘柄の株価を、「みなし額面 50 円相当」に換算します。
(50 円みなし額面の場合そのまま、50,000 円の場合は株価を千分の一
します。以下「換算済み株価」といいます。)

$$\text{株価(円)} \times \left(\frac{50}{\text{みなし額面}} \right)$$

構成銘柄の変更や、構成銘柄の中に資本異動がない限り、構成銘柄の換算
済み株価を合計して、「除数」で割ったものが指数値になります。

(2005 年 6 月 7 日現在 = 23.896)

構成銘柄の変更や、構成銘柄の中に資本異動が発生する場合は、原則とし
て「除数」を変更します。

$$\text{新除数} = \text{旧除数} \times \frac{\text{変更前日の換算済み株価合計} + A}{\text{変更前日の換算済み株価合計}}$$

構成銘柄の変更

$$A = \text{新規採用銘柄株価} - \text{除外銘柄株価}$$

(共に換算済み株価)

構成銘柄の資本異動(基本形)

$$A = \text{当該銘柄権利落ち理論値} - \text{当該銘柄権利付き最終値}$$

(共に換算済み株価)